



## 川村インターナショナルの 翻訳品質管理

品質向上のために実践している5つのこと

品質向上のために  
川村インターナショナルが  
実践している5つのこと

- ①言語情報資産を有効活用しています。
- ②品質工学的アプローチを採用しています。
- ③プロセスマネジメントを重視しています。
- ④フローの自動化を推進しています。
- ⑤改善マインドを育成しています。

# ① 言語情報資産を有効活用しています。



翻訳メモリ



用語集



スタイルガイド・規約



Q&Aデータ

用語集、規約、スタイルガイドに則って翻訳をしたり、過去に翻訳した対訳のデータ(翻訳メモリ)やQ&Aのデータを有効活用したりすることで、訳調を統一することができます。

## ②品質工学的アプローチを 採用しています。

- 独自の品質管理システム

- 独自のエラーカテゴリ
- 作業者への自動フィードバック送信
- プロジェクトマネジメントシステムとの連携

Result (Weighted Score)	Result	Error Rate	Comment To Translator
88.00 ✓ Pass	93.50 ✓ Pass	1.00% ✓ Pass	

Error ID	Error details (source text)	Error details (target text)	Error details (revised text)	Reason for revision
10				
A				

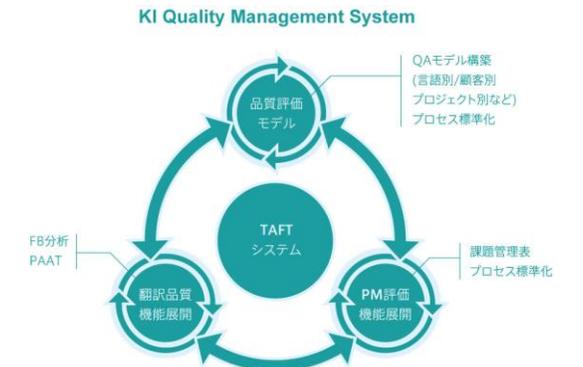
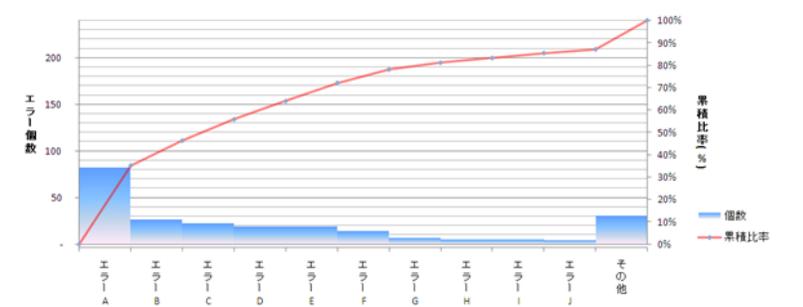
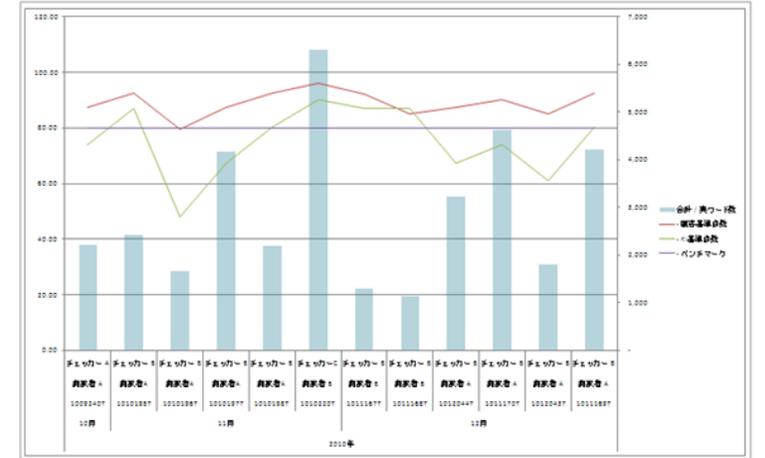
+ ☰

Category	Sub-category	Description	Error ID	Details (for check)	Recommended error rate	A Critical	B Major	C Minor	Total
Quality	Omission	Text that should have been translated is not present in the translation	1	Omission. Estimate the impact the error will have on the reader, and assign a level (A: significant impact (meaning is different from source text, potential for error in operation, etc.); C: low impact)	A/B/C	0	0	0	0
	Specific mistranslation	Errors in interpretation of grammar	2	Grammar interpretation error (1) -incorrectly translated as affirmative/negative-	A/B	0	0	0	0
		*Errors discovered during check of translation against original (bilingual check)		Syntax/composition of source text not understood correctly, or meaning of word(s) is incorrect					
			3	Grammar interpretation error (2) -Errors other than those above-	A/B	0	0	0	0
			4	Word-level mistranslation (1) -Mistaken reading of source text-	A/B	0	0	0	0
			5	Word-level mistranslation (2) -Selected the incorrect meaning for a word that has multiple meanings-	B	0	0	0	0
			6	Word-level mistranslation (3)	B	0	0	0	0



## ②品質工学的アプローチを 採用しています。

- ・ 収集→分析→対策・フィードバックの基本原則
  - ・ ドキュメント/案件ごとに設定されたQAモデル
  - ・ ISO/JIS規格を用いたサンプリング手法も活用
  - ・ QC7つ道具/新QC7つ道具を活用した分析



## ②品質工学的アプローチを採用しています。

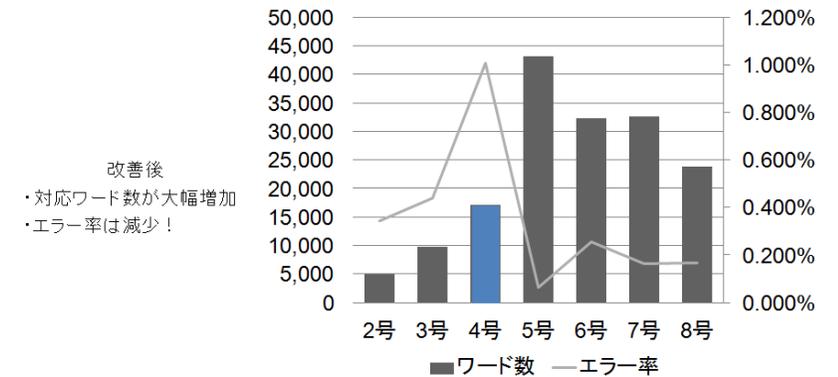
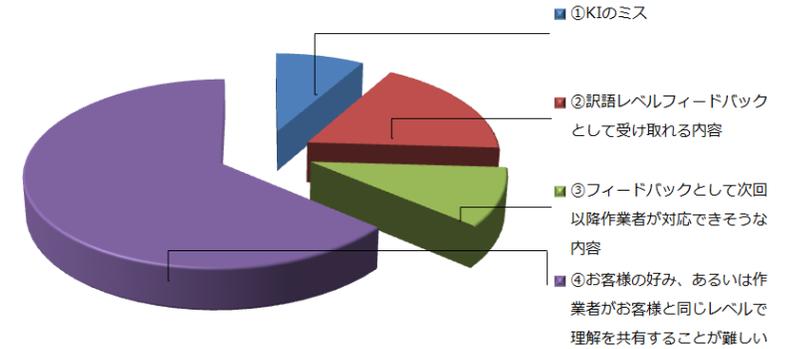
### ・「好みの分析＝品種適合」への挑戦

#### ・ エラー分析→品質機能展開

→お客様との役割分担＋工程見直し

→プロジェクトでの修正

#### ・ お客様との事前の打ち合わせ段階から、好みを把握する試み（試験中）



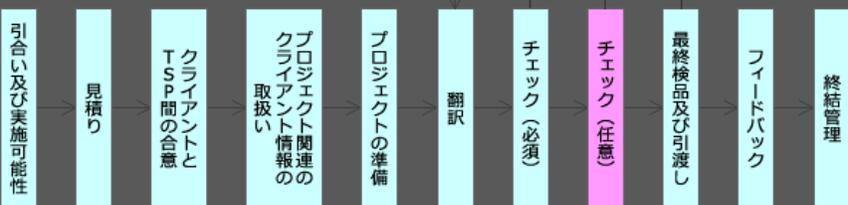


ISO17100 翻訳ワークフロー 附属書A (参考)

制作前のプロセス及び活動(簡条4)

制作プロセス(簡条5)

制作後の  
プロセス  
(簡条6)

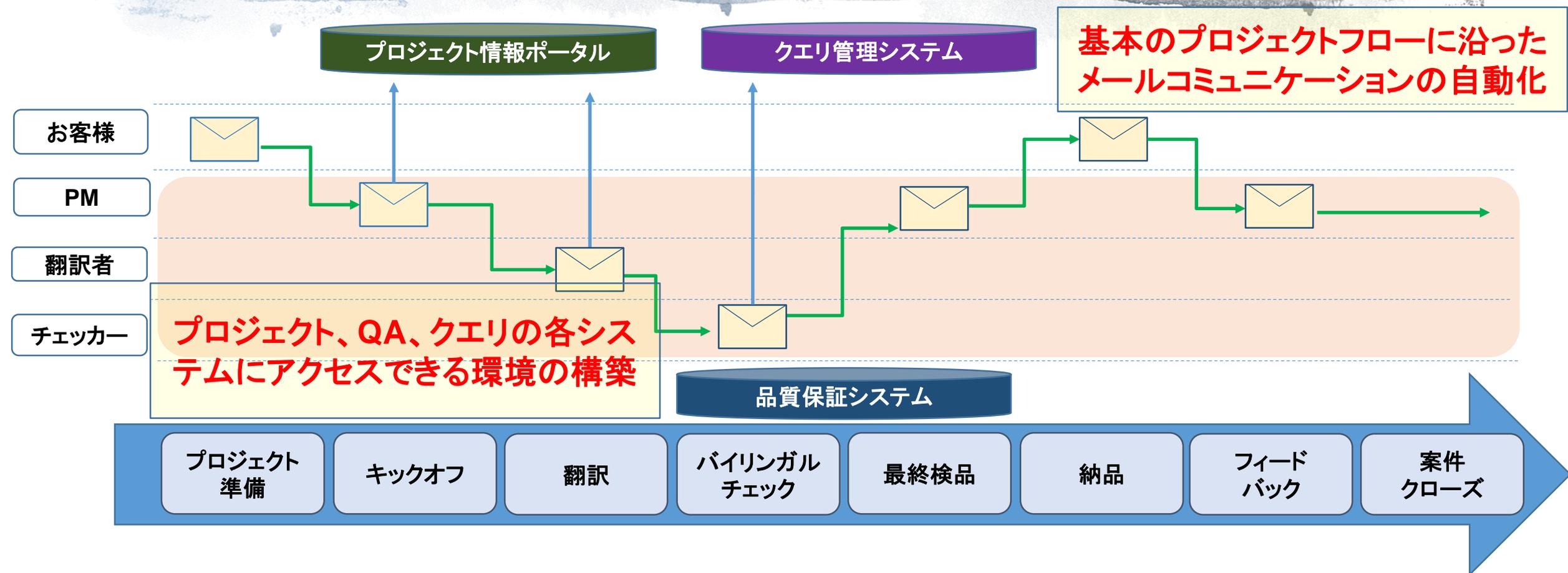


### ③プロセスマネジメントを重視しています。

- ・ 国際標準の要求する翻訳プロセスを重視
  - ・ ISO 17100 (翻訳サービス提供者)の認証取得
  - ・ ISO 18587 (ポストエディットのプロセス)
  - ・ ISO WD 20999 (翻訳品質管理)の規格策定
  - ・ ISO 27000 (ISMS) ※の認証取得
- ・ 顧客のパートナープログラム認証を取得
  - ・ SAP Language Services Partner (Since 2008)

※当社は情報セキュリティ強化を翻訳品質保証の一環として位置づけています。

# ④フローの自動化を推進しています。



# ⑤改善マインドを育成しています。

- QC検定4級試験の実施
- 品質管理の基本研修
- 改善事例発表会

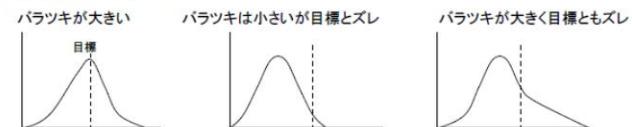


更に追加) 問題のパターン  
問題解決を効率的に進めるには問題の性格を知って、それに合った方法で進めることが大事です。

④時間の経過による問題のパターン



⑤バラツキ問題のパターン

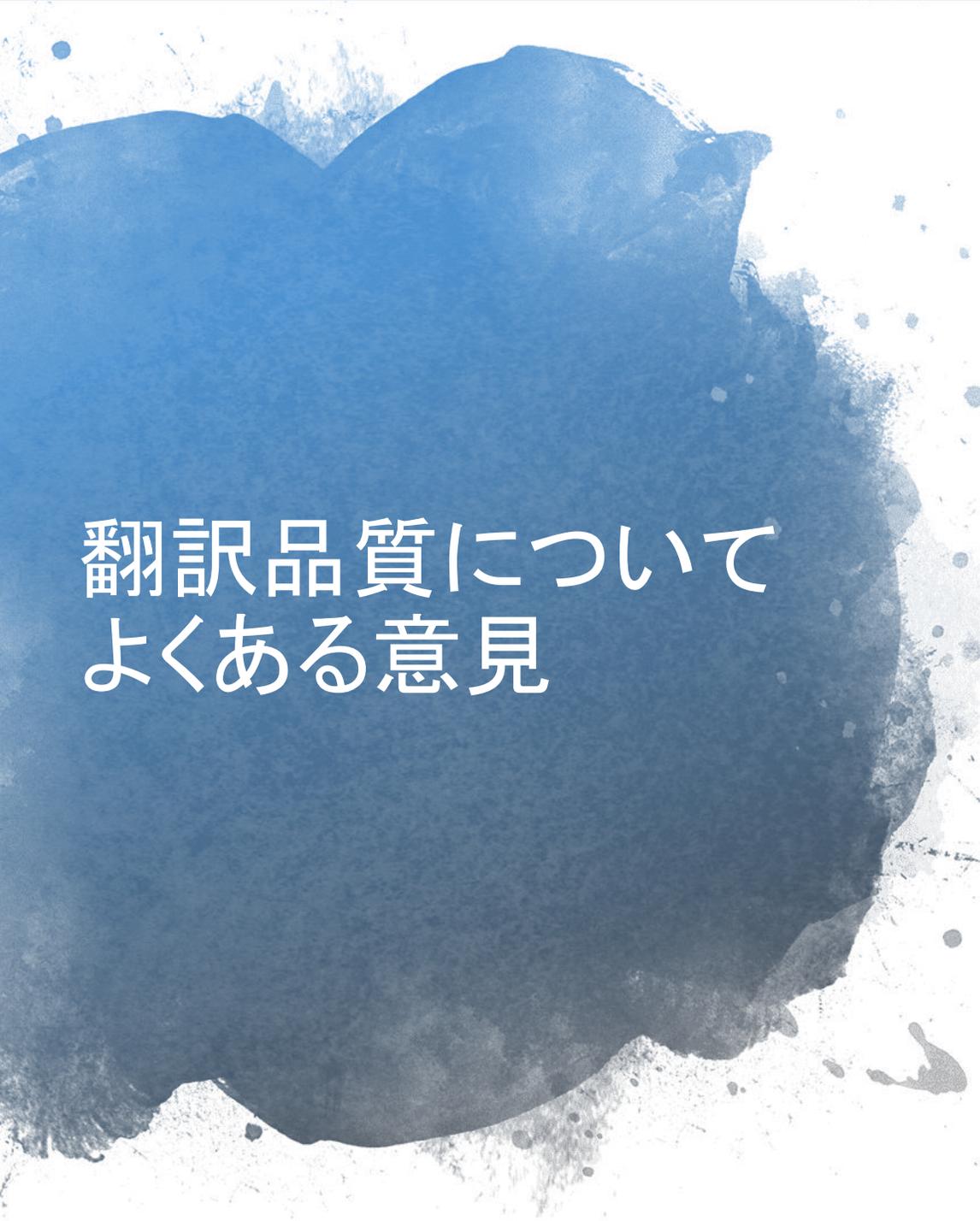


⑥方向の問題パターン

例えば、高い方が良いのかはその問題の種類によって異なっており、低い方が良い問題、理想は高い方が良い問題などがあります。

「品質」に関する文章において、【 】内に入る最も適切なものを、  
番号で答えてください。

- 検査とは、「品物または【 ① 】の一つ以上の特性値に対して、測定、試験、検定、ゲージ合わせなどを行って、規定要求事項と比較して、適合しているかどうかを判定する活動」で、この規定要求事項とは、法令、【 ② 】、技術仕様書などのことを指している。
- 検査は、大切な機能の一つとして、製品や【 ② 】そのものをチェックして、不適切なものを【 ③ 】することがあげられる。
- 検査では、寸法や質量、性能などの、特製を測定して行うもののほかに、人間の感覚を用いて判断するものがあり、これを【 ④ 】検査という。



## 翻訳品質について よくある意見

- 高い金額を支払えば良い翻訳になる
- 機械翻訳は品質が悪くて使えない
- どの翻訳会社に発注して質は大差はない
- プロなのだから良い品質が当たり前

# お客様にご理解いただきたいこと

01

「良し」とする品質は用途やお客様の好みによって異なっている

02

翻訳品質向上に役立つ情報、最低限必要な情報がある

03

顧客と翻訳者の間には保持する知識のギャップがある

04

対訳データの適切な管理・運用は将来の品質向上のために重要

05

安くできる、納期を短縮できる方法には必ずリスクも存在する



お客様にも積極的に情報提供していただくことで、適切にリスクヘッジをして、より安く・短納期で翻訳ができる提案につながります。

お客様と翻訳会社では、保有する情報に差があります。  
こうしたギャップをなくすことがQCDの最適化への近道と考えています。

お客様の最優先の事項は何か。

常に疑問を持ち続け、品質・コスト・納期の最適なバランスを提案することを目標にします。

川村インターナショナル 営業窓口 TEL : 03-3267-0270  
e-mail : [sales@k-intl.co.jp](mailto:sales@k-intl.co.jp)

*Copyright © 2017 Kawamura International Co.,Ltd. All Rights Reserved.*